PPPoEクライアントソフト「RASPPPOE」インストール&設定手順

(WindowsXPをご利用の方は18ページからご覧下さい)

- ディスクトップ上に新しいフォルダーを作成し、フォルダー名を「RASPPPOE」とします。
 新しく作成するフォルダーはディスクトップ上でなくても結構です。また付ける名称も 「RASPPPOE」でなくてもかまいません。
- 2:同封しているCD-ROMの「raspppoe」フォルダー内のファイルを全て (14個のファイルがあります)、1 で作成したフォルダーにコピーして下さい。 Windowsの設定によっては14個中の一部のファイルが表示されない場合がありますので、 すべてのファイルが表示されるようにWindowsの設定を変更してください。
- 3:ディスクトップ上の「マイネットワーク(WinMe、Win2000)」又は 「ネットワークコンピュータ(Win98)」のアイコン上にマウスカーソルを持っていき マウスの右ボタンを押し表示されるメニュー内の「プロパティ」を選択します。
 - Win2000ご利用の方は 6ページへ



4:ネットワークのウィンドウが表示されます。 その中の「追加」ボタンを押してください。

৾৵৽৸ঢ়৾৾৾৾ঢ়৾৾৴৾৾৾				
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御				
現在のネットワーク コンポーネント(N):				
■ Microsoft ネットワーク クライアント ■ BUFFALO LPC4-CLX Fast Ethernet Adapter				
CONTEC FX-DS110-PCC Figure 2.2 Fificient Networks tango Access PPPoE Adapter Figure 2.2 Figure 2.2				
DATA WN-B11/PCM Ethernet Adapter				
<u>追加(A)</u> 削除(E) プロパティ(R)				
優先的にロヴォンするネットワーク(L):				
Windows ログオン				
ファイルとプリンタの共有(E)				
説明 TCP/IP は、インターネットや WAN への接続に使用するプロトコルです。				
OK キャンセル				

5:「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ウィンドウが開きますので、 「プロトコル」を選択し「追加」ボタンを押してください。

ネットワークコンポーネントの種類の選択	×
インストールするネットワーク コンポーネントの種類を	
	追加(A)
アプロトコル ローサールコ	キャンセル
プロトコルはコンピュータが通信するための言語です。通信する複 数のコンピュータどうしは、同じプロトコルを使用する必要があります。	

6:「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開きます。

「ディスク使用(H)」ボタンを押してください。

ネットワーク プロトコルの選択	×
インストールするネ・ をクリックしてくださ がある場合は、[ディ	ットワーク プロトコルをクリックして、[OK] きい。このデバイスのインストール ディスク スク使用] をクリックしてください。
製造元(M): コ	ネットワーク プロトコル:
¥ Microsoft	YTATM LAN エミュレーション クライアント YTATM コール マネージャ
	ディスク使用(<u>H</u>)
	OK キャンセル

7:「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。

「参照(B)」ボタンを押してください。

ディスクからインストール	X
	ОК
デバイスの製造元が配布するインストー	キャンセル
ル ティスクを指定したドライラに入れ て、[OK] をクリックしてください。	参照(<u>B</u>)
製造元ファイルのコピー元:	
A:¥	

8:下記画面表示となりますので、先に作成した「RASPPOE」と名付けたフォルダーを 選択し、左側に表示される「rasppoe.inf」ファイルを選択し

「OK」ボタンを押します。

1の作業時に作成したフォルダーを指定してください。

猒		<u>? ×</u>
ファイル名(<u>N</u>): raspppoe.inf netppp95.inf netpppoe.inf oemsetnt.inf raspp95.inf raspppoe.inf winpppoe.inf	フォルダ(E): c:¥WINDOWS¥デスウ¥RASPPPOE C:¥ C:¥ C:¥ C:¥ C:¥ C:¥ C:¥ C:¥	OK キャンセル ネットワーク(<u>E</u>)
	ドライブ(<u>V)</u> : ➡ c: ▼	

9:「ディスクからインストール」ウィンドウが表示された場合は「OK」ボタンを押してください。 下記画面表示となりますので、OSがWindows98又はMeの場合

「PPP over Ethernet Protocol (Windows98/ME)」を選択し 「OK」ボタンを押します。

ネットワーク プロトコルの選択			
インストールするネットワーク プロトコルをクリックして、[OK] をクリックしてください。このデバイスのインストール ディスク がある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。			
モデル(L):			
FPPP over Ethernet Protocol (Windows 95)			
PPP over Ethernet Protocol (Windows 98/ME)			
<u>ディスク使用(出)</u>			
OK キャンセル			

10:「OK」ボタンを押すとファイルのコピーが始まり、しばらくすると 「ネットワーク」ウィンドウとなります。

正常に完了すれば、現在のネットワークコンポーネント(N)の部分に

- NDISWAN PPP over Ethernet Protocol 」
- PPP over Ethernet Miniport PPP over Ethernet
 Protocol J
- ・「 PPP over Ethernet Protocol パソコンに組み込まれているネット
 ワーク機器の名称 」
 - 例 PPP over Ethernet Protocol <u>BUFFALO LPC4-CLX</u>
 <u>Fast Ethanet</u> 下線部がネットワーク機器の名称

が追加されています。確認されたら「OK」ボタンを押してください。

ネットワーク <u>? ×</u>				
ネットワークの設定 識別情報 アクセスの制御				
現在のネットワーク コンボーネント(N):				
PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol				
🍹 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol				
PPP over Ethernet Protocol -> BUFFALO LPC4-CLX Fast Ethe				
PPP over Ethernet Protocol -> CONTEC FX-DSTID-PCC				
<u>追加(A)</u> 削除(E) プロパティ(R)				
優先的にログオンするネットワーク(L):				
Windows ログオン				
ファイルとプリンタの共有(E)				
説明 Allows making PPP connections through Ethernet adapters according to RFC 2516. Required for connecting with many broadband service providers.				
OK				

再起動を促す画面が表示されたら再起動してください。表示されない場合でも再起動してください。

Win2000をご利用の方 (Win98、WinMeの方は、12ページの22へ)

11:「ネットワークとダイヤルアップ接続」のウィンドウが開きます。



12:中の「ローカルエリア接続」を選択し、マウスの右ボタンを押し「プロパティ」を選択します。



13:「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」ボタンを押してください。

ローカル エリア接続のプロパティ ? ×				
全般 共有				
接続の方法:				
Intel(R) 82559 Fast Ethernet LAN on Motherboard				
構成②				
チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(型):				
 ✓ ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ✓ ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプロンク共有 				
Image: State of the state				
インストール(Q) 削除(U) プロパティ(R)				
説明 コンピュータが Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。				
▼ 接続時にタスク バーにアイコンを表示する(W)				
OK キャンセル				

14:「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ウィンドウが開きますので、「プロトコル」を選択し 「追加」ボタンを押してください。

ネットワークコンボーネントの種類の選択 🔹 💌				
インストールするネットワーク コンポーネントの種類をクリックしてください (<u>C</u>):				
 見 クライアント 見 サービス 				
説明 プロトコルは、コンピュータ間の通信に使用される言語です。				
道加(<u>A</u>) キャンセル				

15:「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開いたら、「ディスク使用」のボタンを押してください。

ネットワーク:	プロトコルの選択	×
Ş	インストールするネットワーク プロトコルをクリックしてから [OK] をクリックしてください。このコンオ ーネントのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。	ę
ネットワーク AppleTa	パクトコル(P): M プロトコル	-
ネットワー	トコル クモニタ ドライバ	
		5
	ディスク使用(円)	J
	<u> </u>	

16:以下のウィンドウが表示されたら、「参照」ボタンを押してください。

フロッピー ディ	(スクからインストール	×
4	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、[OK] をクリックしてください。	OK キャンセル
	製造元のファイルのコピー元(<u>©</u>):	参照(<u>B</u>)

17:以下の画面が表示されますので、先に作成した「RASPPOE」と名付けたフォルダーを指定し 表示されるファイルの中から「RASPPOE.INF」を選択し「開く」ボタンを押してください。

ファイルの場所					<u>? ×</u>
ファイルの場所型:	🔁 raspppoe		•	두 🗈 💣 🎫	
び 履歴 デスクトップ マイ ドキュメント	NETPPP95.INF				
	、 ファイル名(N): ファイルの短額(T):	RASPPPOE.INF			

18:以下の画面となりますので、「OK」ボタンを押してください。

フロッピー ディ	スクからインストール		×
	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、[OK] をクリックしてください。	ок	
		キャンセル	
	製造元のファイルのコピー元(C):		
	C:¥Documents and Settings¥mkatube¥デスクトップ¥rasppf 💌	(■参照(B)	

19:以下の画面となりますので、「OK」ボタンを押してください。



20:以下の画面が表示(複数回の場合もある)される場合があります。 その場合は「はい」ボタンを押してください。

デジタル署名が見つかりませ	んでした <u>×</u>
3	Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテスト され、その後変更されていないことが保証されます。
	インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名 がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作 することは保証されません。
	WAN Miniport (PPP over Ethernet Protocol)
	Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、 Windows Update Web サイト http://windowsupdate.microsoft.com を参照し、利用できるソフト ウェアであるかどうかを確認してください。
	インストールを続行しますか?
	(武(パ(Y))) いいえ(N) 詳細情報(M)

21: しばらくすると「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

「PPP over Ethernet Protocol」の項目が追加されていることを確認し 「閉じる」ボタンを押してください。

ローカル エリア接続のプロパティ
全般 共有
接続の方法:
Intel(R) 82559 Fast Ethernet LAN on Motherboard
構成(<u>C</u>)
チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています(Q):
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 「PPP over Ethernet Protocol」 「NWLink NetBIOS 「NWLink NetBIOS」 「NWLink Inv / CDV / NewDIOS 石橋 Letter 2000 スパート マロトコル
インストールQ 削除(U) プロパティ(B)
説明 Allows making PPP connections through Ethernet adapters according to RFC 2516. Required for connections with many broadband service providers. ▼ 接続時にタスク バー(こアイコンを表示する(W)
閉じる キャンセル

22:続いて「RASPPPOE」フォルダーを開き、その中のファイル「RASPPPOE.EXE」の アイコンをダブルクリックして起動させます。



23:下記のようなウィンドウが表示されますので、その中の「 Create a Dial-Up Connection for the selected Adapter 」と表示されている ボタンを押します。

RASPPPOE - Dial-Up Connection Setup	×
Query available PPP over Ethernet Services through Adapter	:
BUFFALO LPC4-CLX Fast Ethernet Adapter	1
Query Available Services	
<u>Create a Dial-Up Connection for the selected Adapter</u>	
<u> </u>	

24: するとディスクトップ上に下記のようなアイコンが作成されます。

^r Connection through <u>BUFFALO LPC4-CLX Fast</u>

Ethernet Adapter 」

下線部はパソコンに組み込まれているネットワーク機器により異なります。



25:13で作成されたアイコンをダブルクリックし起動させます。

下記表示となりますので、「ユーザー名」と「パスワード」の欄に送付資料をもとに入力し

「接続」ボタンを押してください。

大文字、小文字区別しますので入力の際ご注意下さい。

- 「パスワードの保存(S)」にチェックを入れると、次に起動したときパスワードを入力しなくて 済むようになります。
- 「自動的に接続する(A)」にチェックを入れると、その都度「接続」ボタンを押す必要が 無くなります。

電話番号部分は何もされなくて結構です。

Win98、WinMeの場合

🔧 接続	?
	Connection through BUFFALO LPC4-CLX Fast Eth 💌
ユーザー名(山):	
パスワード(<u>P</u>):	
	□ <u>パスワードの保存(S)</u> □ 自動的に接続する(A) ■ 日動的に接続する(A)
電話番号(<u>N</u>):	0
発信元(<u>F</u>):	新しい場所 ダイヤルのプロパティ(D)…
	接続 プロパティ(R) キャンセル

Win200の場合

Connection through Intel(R) 82559 Fast Ethernet LAN on Motherboar.
ユーザー名(1):
パスワード(空):
□ パスワードを保存する(S)
ダイヤル(型) キャンセル (フロバティー) ヘルプ(H)

26: パソコン、ADSLモデム、回線等の接続に問題なく、ユーザー名とパスワードの入力間違いなければ 以下の画面が表示され正常に接続できたことになります。

Win2000場合は「接続の完了」と表示されたウィンドウが開き、そのウィンドウ内に

「・・・接続しています。」と表示されます。

ブラウザソフト (InternetExplorerなど)を起動させれば、Yahoo!等が 見れるようになります。

接続	? ×
現在 Connection through BUFFALO L に接続しています。	
切断したり、状況を表示するには、タスク バーの時計の横にある [ダイヤル アップ] アイコンをダブルクリックしてください。	<u>d</u>
または [ダイヤルアップ ネットワーク] フォルダの接続アイコンをダブルクリック します。	i C
□ 今後、このメッセージを表示しない(型)	
[

正常に接続できたなら画面右下部分に下記のようなアイコンも表示されます。



27: InternetExplorerを起動し、「ツール」 「インターネットオプション」 「接続」と 選択し、「通常の接続でダイヤルする(O)」に をして下さい。 次にダイヤルアップの設定(N)内の「Connection through <u>BUFFALO</u> <u>LPC4-CLX Fast Ethernet Adapter</u>」(下線部はそれぞれで異なる)を 選択し「既定に設定(E)」ボタンを押す。 そして「適用」ボタン、「OK」ボタンの順に押してください。 この設定をしておくと、InternetExplorerを起動させた時連動して、 14で説明した「接続」ウィンドウが表示されます。

বিচের্ডলইজন ব্যট্য⊒স	
全般 セキュリティ コンテンツ 接続 ブログラム 詳細設定	
コンピュータをインターネットに接続するには、	
Connection through BUFFALO LPC4-CLX Fast 日本	
▲	
 ○ ダイヤルしない(©) ○ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする(₩) ● 通常の接続でダイヤルする(©) 	
現在の既定値: Connection through BUFFALO 既定(:設定(E)	
□ ダイヤルする前にシステム セキュリティ チェックを実行する(P)	
- ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定 LAN の設定(L)	
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

補足 閲覧できないWebサイトがあった場合以下の調整を行ってください

1:ディスクトップ上の「マイネットワーク(WinMe)」又は「ネットワークコンピュータ(Win98)」 のアイコン上にマウスカーソルを持っていきマウスの右ボタンを押し表示されるメニュー内の 「プロパティ」を選択します。



Win2000の場合は、「マイネットワーク」 を選択し、開いたウィンドウ内の「ローカルエ リア接続」上でマウスの右ボタンを押し、 「プロパティ」を選択します。

2:「PPP over Ethernet Protocol パソコンに組み込まれている ネットワーク機器の名称」を選択し「プロパティ」ボタンを押す。

ネットワーク	cl
ネットワークの設定 課想消報器 アクセスの制御 現在のネットワーク エンボーネント型と 第 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol 第 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol 第 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol 第 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol 第 PPP over Ethernet Miniport -> PPP over Ethernet Protocol 第 PPP over Ethernet Protocol -> BUFFALO LPC4-CLX Fast Ether 第 PPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS110-PCC 第 BPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS110-PCC 第 BPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 第 PPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 第 PPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 第 PPP over Ethernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 ● Thernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 ● Thernet Protocol -> OONTEC PX-DS10 ● The	Win2000は「ローカルエリア 接続のプロパティ」ウィンドウが開き ます。 その中の「PPP over Ethe rnet Protocol」を選択し 「プロパティ」ボタンを押す。

3:「PPP over Etheernet Protocolのプロパティ」画面が表示される。

「General」タブを選択

下記画面表示になったら「Override Maximum Transfer Unit」部分に チェックをいれ、数値を「1454」に変更し「OK」ボタンを押す。

PPP over Ethernet Protocolのプロパティ
バインド General Advanced
When using Internet Connection Sharing (ICS), the clients may experience delays and stalls when accessing the Internet. This option makes the protocol check and limit any TCP MSS option found in the network packets it passes to solve this problem.
Limit TCP Maximum Segment Size (MSS) Option
You can override the Maximum Transfer Unit the protocol uses, e.g. to reserve network packet space for certain VPN software or to work around a problem with your ISP. Note that this setting affects ALL dial-up connections on this machine.
<u>□verride</u> Maximum Transfer Unit Maximum Transfer Unit (MTU)
If you need to run several simultaneous connections through this adapter, you can increase the number of lines offered for it. Otherwise, it is recommended to leave this setting at 1.
Number of lines (WAN endpoints):
OK キャンセル

Win2000の場合 「バインド」は表示されま せん。 WindowsXPをご利用の方へ

- 1:ディスクトップ上の「マイネットワーク」を選択してください。
- 2:マイネットワークのウィンドウが開きますので、そのなかにある「ネットワーク接続を表示する」を 選択してください。



3:ネットワーク接続のウィンドウが開きますので、その中の「新しい接続を作成する」を選択してください。



4:新しい接続ウィザードのウィンドウが開きます。

「次へ」ボタンを押してください。



5:「インターネットに接続する」を選択し「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード
ネットワーク接続の種類 オプションを選んでください。
● インターネットに接続する(C) インターネットに接続し、Web をブラウズしたり電子メールを読んだりできます。
○ 感場のネットワークへ接続する(Q) 職場のネットワークにダイヤルアップや VPN を使用して接続し、自宅や別の場所から仕事ができるようにします。
○ホーム ネットワークや小規模オフィスのネットワークをセットアップする(S) 家庭や小規模オフィスの既存のネットワークへ接続したり、新しい接続をセットアップします。
○ 詳細接続をセットアップする(E) シリアル、パラレル、または赤外線ボートを使用して別のコンピュータに直接接続します。またこのコン ピュータにほかのコンピュータから接続できるようにします。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6:「接続を手動でセットアップする」を選択し「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード
準備 インターネット接続をセットアップする準備をしています。
インターネットにどう接続しますか?
 ● インターネット サードス プロバイダ (ISP) の一覧から選択する(L) ● 接続を手動でセットアップする(M) ダイヤルアップ接続には、アカウント名、パスワード、および ISP の電話番号が必要です。広帯 域のアカウントには、電話番号化必要素のきせん。
○ ISP から提供された CD を使用する(<u>C</u>)
< 戻る(B) (次へ(N)> キャンセル

7:「ユーザー名とパスワードが必要な広域帯接続を使用して接続する」を選択し

「次へ」ボタンを押して下さい。

新しい接続ウィザード			
インターネット接続 インターネットにどう接続しますか?			
○ダイヤルアップ モデムを使用して接続する(D) モデムや通常の電話線、または統合デジタル サービス通信網 (ISDN) 電話線を使用して接続しま す。			
●コーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する(U) これは高スピード接続で、DSL またはケーブル モデムを使用します。ISP によっては、この種類の接続を PPPoE として呼んでいます。			
○ 常にアクティブな広帯 域接続を使用して接続する(A) これは高スピード接続で、ケーブル モデム、DSL または LAN 接続のいずれかを使用します。この接続は常にアクティブで、サイン インを必要としません。			
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル			

8:枠内に任意の文字、例えば「トータルネット」と入力し、「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード	
接続名 インターネット接続を提供するサービスの名前は何ですか?	I)
次のボックスに ISP の名前を入力してください。	
ISP 名(A)	
ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。	
	214

9:弊社から送付している資料の、「ユーザー名(PPPログイン名)」と「パスワード」を枠内に 入力して「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード			
インターネット アカウント情報 インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。			
ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存 のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)			
ユーザー名(山):			
パスワード(P):			
パスワードの確認人力(心):			
このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)			
▼この接続を既定のインターネット接続とする(M)			
▼この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする(T)			
< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル			

10:設定完了しました。「完了」ボタンを押してください。



11: ディスクトップ上の「マイネットワーク」を選択し、開いたウィンドウ内に「8」でつけた名前の アイコンができていますので、それをダブルクリックします。



12:以下のウィンドウが表示されましたら、「接続」ボタンを押してください。



- 13: 接続後、ブラウザソフト(インターネットエクスプローラ等)を起動するとインターネットに繋がり いろいろなホームページが見られるようになります。
- 14:ブラウザソフト(インターネットエクスプローラを例にします) インターネットエクスプローラを起動し、「ツール」 「インターネットオプション」 「接続」と 進み、「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」ところに、「8」でつけた名前が 表示されており「(既定)」となっているか確認してください。なっていないようでしたら 「既定」(「既定に設定」ボタンを押す)にして下さい。 また、「通常の接続でダイヤルする」を選択しておいて下さい。

インターネット オブション	2 🔀	
金穀 セキュリティ プライパシー コンテンツ 接続 プログ	54、詳細設定	
インターネット接換を設定するには、 【セットアップ】をクリックしてください。	セットアップ心	
ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定(型)		
	jetn/Q)	
< >	育(除(B)	
プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、 国気定1を遅択して(だろい。	設定(学)。	
 ○ ダイヤルしない(2) ○ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする(4) ○ 通常の接続でダイヤルする(3) 		
現在の既定徳 トータルネット	現金に設定(目)	
ローカル エリア ネットワーク 4 AND の設定		
LAN の設定はタイヤルフラフ接続には適用されません。タイヤ ルアップには上の設定を確認してくささい。	IAN (DER 20).	
OK キャンセル 油用心		

15:14の設定がされていれば、インターネットエクスプローラを起動したとき、12の画面が表示され 「接続」ボタンを押したらインターネットへ接続するようになります。 補足資料1

TCP/IPの設定

(機器の取扱説明書にも手順が載っていますので合わせてご確認下さい。)

Windows98/Meの場合

- 1:「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」の順に進み、コントロールパネルの画面 を開く
- 2:「コントロールパネル」内の「ネットワーク」を選択
- 3:「現在のネットワークコンポーネント」の一覧の中から、「TCP/IP <LANカードの名前 この 部分は利用しているLANカードによって表示が異なる。>」を選択し、「プロパティ」ボタンを押す。
- 4:「TCP/IPのプロパティ」画面が開いたら、

「IPアドレス」「IPアドレスを自動的に取得」に設定

- 「DNS設定」「DNSを使わない」に設定
- 「ゲートウェイ」 設定しない(設定してあるなら削除)

の部分のみ設定してください。

- 5:「TCP/IPのプロパティ」画面を「OK」ボタンを押して閉じる。
- 6:「ネットワーク」画面も「OK」ボタンを押して閉じる。
- 7:再起動を促すメッセージが表示されたら再起動行う。(何も変更しなければ再起動を促すメッセージは 出ない)

Windows2000

1:「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」 「ネットワークとダイヤルアップ 接続」 「ローカルエリア接続」を選択

- 2:「ローカルエリア接続の状態」画面が開いたら「プロパティ」ボタンを押す
- 3:「ローカルエリア接続の状態のプロパティ」画面が開くので、

その中の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンを押す

- 4:「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面内の
 - 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し

「OK」ボタンを押す

5:以上で設定終了ですので、ディスクトップ画面まで戻って下さい。

WindowsXP

1:「スタート」 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット接続」

「ネットワーク接続」と進み、「ローカルエリア接続」のアイコン上にマウスカーソルを移動させマウスの 右ボタンを押し出てくるメニュー内の「プロパティ」を選択する。

2:「ローカルエリア接続の状態のプロパティ」画面が開くので、

その中の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンを押す。

- 3:「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面内の
 - 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し 「OK」ボタンを押す
- 4:以上で設定終了ですので、ディスクトップ画面まで戻って下さい。

Mac OS 9.04以降の場合

(OpenTransportのバージョンが2.6以上であること。)

- 1:「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択しTCP/IPの設定画面を表示させる。
- 2:経由先を「Ethernet」にする、
- 3:設定方法を「DHCPサーバを参照」にする。
- 4:以上で設定終了ですのでウィンドウを閉じます。このとき「保存しますか?」とメッセージが表示された 場合は「保存」を選択します。

Mac OS Xの場合

- 1:「システム環境設定」 「ネットワーク」と選択し、ネットワークの画面を表示させる。
- 2:ネットワーク画面内の、設定の部分を「内臓Ethernet」にする。
- 3: TCP/IPタブ内の、設定部分を「DHCPサーバを参照にする。他の部分は空白
- 4: PPPoEタブ内の、PPPoEを使って接続するのチェックをはずす。
- 5:AppleTalkタブ内の、AppleTalk使用のチェックをはずす。
- 6:プロクシタブ内の、全ての項目のチェックをはずす。
- 7:「保存」ボタンを押し保存する。
- 8:「システム環境設定」 「システム環境設定を終了」を選択し終了する。

補足資料2

「ブロードバンドルータ」をご利用されている方、される予定の方



ブロードバンドルータを導入すると複数台のパソコンからインターネットの利用が可能となります。

ご使用される**ブロードバンドルータ**は、「<u>PPPoE(PPP over Ethernet)</u>」に 対応している製品をご利用(お買い求め)下さい。

今お使いのブロードバンドルータが「PPPoE」に対応していない場合、その製品のファームウェアを アップグレードすることにより「PPPoE」対応にできる場合もあります。 詳しくはメーカーにお問い合わせいただくか、メーカーのホームページでご確認下さい。

ブロードバンドルータを利用される場合は、パソコンにPPPoEクライアントソフト「RASPPPOE」 をインストールする必要はありません。(WinXPは標準でPPPoEクライアントソフトが組み込まれてい るので「RASPPPOE」のインストール不要)